

事業名

## すこやかな都祁の子を育てる「都祁の子プラン」

目標

都祁中学校区の児童・生徒のすこやかな成長を願い、知・徳・体の更なる向上と部活動の活性化に向けて取り組む

## 1. 取組の視点

校区の人々の学校に対する期待や関心は極めて高く、地域と共に発展してきた。しかし、都祁地域においても少子化や情報化などの社会の変化から受ける影響も大きい。また、4小学校からほとんどの児童が都祁中学校へ進学するため9年間を通してどんな子どもに育てていくのか、さらに子どもの現状はどうかなど都祁地区保・小・中教育交流会を持ち共通認識を図っている。その中で行動の低年齢化、コミュニケーション能力の低下、運動能力の低下、基本的な生活習慣の乱れなどが浮き彫りになってきた。そこで、たくましく生き抜くために必要な力を身につけ、様々な体験や交流を通して、強い体と豊かな心を育み、生き生きと活動する都祁の子どもたちを育てていく。

## 2. 取組の概要

都祁中学校区の児童・生徒のすこやかな成長を願い、知・徳・体の調和のとれた発達を促す取組



を進めてきた。①図書活動の推進。そのための図書を購入し、読書活動・学校図書館の充実を図る。小学校では、地域の方に来校をお願いして読み聞かせ学習を実施した学校もあった。②地域の学校にふさわしい環境美化活動の推進。そのために保護者やボランティアの方々をお願いをして、生徒・保護者・ボランティアの方々で学校内外の草刈り作業・除雪作業などを実施した。③体力向上

のための水泳教室の実施。夏休みに講師招聘をして4小学校で水泳教室に取り組んだ。④子ども見守り活動の推進。地域のボランティアの方々に協力をお願いして児童・生徒の登下校時における見守り活動を実施していただいた。



⑤たくましい体と心を育む部活動の推進。部活動をしている運動部や文化部が奈良市の大会、奈良県の大会、近畿大会、奈良県コンクール、展示発表会などへの参加の際に移動するバスの支払である。

## 3. 成果と課題

今年度事業のテーマとして、すこやかな都祁の子を育てる「都祁の子プラン」を掲げ、都祁中学校区の児童・生徒のすこやかな成長を願い、知・徳・体の更なる向上と部活動の活性化に向けて取り組むという目標を設定した。図書の充実、環境美化、児童・生徒の運動を推進し、たくましい体と豊かな心を育むという具体的な内容を掲げて取り組んだ。

成果としては地域全体として地域の方々の協力を得ながらほぼ達成できたと思う。①小・中を通じた児童・生徒の現状を把握すること。②学校図書館の充実を目指し、蔵書の充実を図る。③更なる体力の向上を願い、取組を継続していくことが今後の課題である。

事業名

**都祁の文化 “地域交流を深めよう！”**

目 標

**保護者や地域の方々との交流活動を通して、地域を愛する心を育てる****1. 取組の視点**

都祁中学校区は、地域を挙げて中学校の諸行事や取組に協力や理解を得ることができる。その成果もあって、生徒の健全育成や諸活動の取組において大きな成果を残している。年々生徒数も減少傾向にあるが、「奈良県一の学校を目指して」を地域・家庭・学校の合言葉として諸活動に取り組む。重点的な活動としては、地域まで広がるあいさつ運動、清掃活動の徹底、「地域から学ぶ」をキーワードにした地域交流会を展開する。また、夏と年末には生徒会とタイアップして高齢者宅訪問を実施して世代間交流を深める取組を毎年計画し実施する。

**2. 取組の概要**

「都祁の文化 “地域交流を深めよう”」を事業テーマに掲げ、保護者や地域の方々との交流を通して、地域を愛する心を育てるという目標を設定



した。まず、7月（絵はがき）と12月（切り絵のカレンダー）の2回、自分たちで制作した作品をもって高齢者宅訪問を実施した。都祁の文化や遊び、歴史などいろんなことを高齢者の方々から学ぶことができた。絵はがきやカレンダーのお礼のお手紙も頂き、学校だより「架け橋」で紹介をした。グラウンドゴルフ交流会では課題別学習で地域のグラウンドゴルフクラブの方々に来てい

ただきゲームを通して交流を深めることができた。10月に実施した地域交流会では、社会福祉センターの高齢者の方々や保育園児を招待した。



今まで総合的な学習の時間や課題別学習で取り組んできたことを発表したり、劇を観ていただいたりして交流を深めることができた。保育園児とは保育園に課題別学習で行って保育のお手伝いをしたり、本校に来てもらった時は、いっしょにゲームをしたり、踊ったりして交流を深めることができた。学校評議員の方々にも地域交流会の様子を参観していただき、お褒めの言葉もいただいた。**3. 成果と課題**

高齢者宅訪問は、世代間交流で高齢者の方々から昔の話や遊びなどを教えてもらったりして都祁の文化や歴史を学ぶことが多くあった。学校だよりでお礼のお手紙を紹介したことを生徒たちはとても喜んでいて。また、総合的な学習の時間・課題別学習（保育・福祉・グラウンドゴルフ・芸術）の取組を通して地域の方々や保育園児との交流を深めることで多くの人たちとコミュニケーションを取ることができ、この取組を通して生徒たちは、人を愛する心や地域を愛する心を学んだ。今後も継続して地域の方々にも協力をお願いし、取り組んでいきたい。

事業名

## 都祁っ子 “ホップ・ステップ・ジャンプ”

目標

運動を通して豊かな心とたくましい体力の向上を図り、意欲的に活動する中で生きていく力を培う

### 1. 取組の視点

都祁中学校は、奈良市南東部、大和高原に位置し、気候は夏期は冷涼、冬期は寒さの厳しい地域である。人口の割に面積が広く、片道約1時間かける自転車通学生も在籍する。地域挙げて中学校の諸行事に協力・理解を得られる。その成果もあって生徒の健全育成や諸活動に大きな成果を残している。年々生徒数が減少傾向にあるが、部活動が熱心で県下はもとより全国的にも好成績を残している。また、年間の部活動指導を通じてたくましい心と体を育成する。また、安全に配慮した諸活動を通して信頼される学校づくりに取り組む。

### 2. 取組の概要

「都祁っ子 “ホップ・ステップ・ジャンプ”」を事業テーマに掲げ、運動を通して、豊かな心とたくましい体力の向上を図り、意欲的に活動する中



《奈良市駅伝大会男女総合優勝》

で生きていく力を培うという目標を設定した。運動を実践する環境を整備することで、自己記録をアップさせるようと、挑戦する能力を養い、体力の向上や意欲的な生活態度の向上を図った。生徒と教師が一つになって、毎日の早朝練習や放課後練習、土曜日の練習と毎日全員参加で熱心に取り組

んだ。また、夏休みには小学生との部活交流も実施した。また、新グラウンドの体育施設環境の点検整備作業が8月と11月に実施された。



部活動では、体力の向上のみならず、あいさつ・清掃活動を大切にする中で、学校に来られた方々にも気持ちよくあいさつをおこない、お褒めの言葉を多くの方々からいただいた。また、先生方に対してや生徒同士でも元気よく、気持ちよくあいさつすることができた。また、環境美化活動や奉仕活動、除雪作業などの活動でも生徒が主体的に取り組むことができた。

### 3. 成果と課題

運動を実践する環境を整備することで、自己記録もアップさせることに挑戦する能力を養い、体力の向上や意欲的な生活態度も向上した。これまで運動部活動においては、朝練習・土日や祝日の練習と毎日全員参加で熱心に取り組み、大きな成果を残すことができた。体育施設の環境に恵まれたことも要因の一つであると考えられる。また、運動を通して意欲的に活動することもほぼ達成することができた。

今後も運動を実践する環境を整備していくことが課題であり、恵まれた環境で、更に体力の向上や意欲の向上を図っていききたいと考えている。

事業名

## ふれあい、輝け並松っ子

目標

地域の方々とふれあいを通じて豊かな心を育み、生き生き活動する並松っ子を育てる

### 1. 取組の視点

大和高原の自然環境と地域に住まわれる方々の人的環境に恵まれ、日々の学習に取り組む子どもたち。しかし、実際の生活では、地域の伝統文化に触れる機会は少なく、登下校の道に自生する「ススキ」はわかっているけど、「茅」と言われるとわからない。放課後の運動場に訪れるときは、DS片手にブランコへ、といった状況である。

普段の生活で、地域の方々とふれあい、ともにすごし学ぶ機会は、やはり少ないといえる。これらのことから、学校に協力いただける地域の方々とともに、子どもたちの学びの機会を支える活動として本事業に取り組んだ。

### 2. 取組の概要

○学習支援（家庭科・図工科・生活科等）



今も地域の家庭で作られているちまきを指導していただいた。通学路や自宅近く

に自生する「茅」を子どもたちが持参し、これをきれいにするとところから始める。こねた団子を笹でくるんだあと、萱で飾るようにくるんで完成。事前の打ち合わせや当日の下準備など、地域の方々に積極的に活動いただいた。ちぎり絵の指導では、参考になる作品の提示から始まり、柿の葉の虫食いを表現するために、線香で張り付ける和紙を焼く工夫など、多くの工夫を指導いただいた。



お年寄りの皆さんに子どもの頃の様子や遊びを子どもたちに教えていただき、一緒に楽しんでいただいた。



○英語で絵本の読み聞かせ



高学年での外国語活動をふまえて、他の学年の子どもたちにも外国語に触れる機会を設けた。

地域の英語に堪能な方が、休憩時間等に子どもたちになじみのある昔話などの本を見せたり、プロジェクターで絵を提示したりしながら、語っていただいた。

### 3. 成果と課題

地域の方々と学んだ成果は多くある。学んだ感想の中に「一緒に話しながら作業をしたのが楽しかった。」という内容が見られた。人とのつながりの大切さを再認識した言葉である。

また、子どもたちのお礼の手紙に対し返事をいただいた中に、地域の皆さんからも楽しかった思いをいただいた。学習に参加した、子どもたち・地域の方々・教職員が相互に様々なことを学んだ機会となった。今後の課題としては、情報発信の取り組み、子どもたちに継続的にかかわっていただけの人材の確保、事業継続のための予算の確保、学校や地域の担当者が代わっても学習が続けられる引き継ぎの方法が考えられる。今後とも子どもたちと地域の方々と協力して取組を続けていきたい。

事業名

**瞳きらきら 心うるおう都祁の子の育成**

目標

**新しい発見の喜び・感動を素直に受け止め、何事にも意欲的に取り組む都祁の子を育てる****1. 取組の視点**

本校では、「つげのこ」をキーワードに  
「つ」・・・つきゅうする子、  
「げ」・・・はげましあう子、  
「の」・・・のびのびそだつ子、  
「こ」・・・こころやさしい子

の育成をめざして取り組んでいる。何事にも興味・関心を示す子どもたちではあるが、学びを表すときになると、自信が持てずに躊躇してしまうことが多々見受けられる。本年度の研究主題を柱に、お話の会をはじめ以前から続いている地域との連携を活かしながら、身近な中で自分をきっちり表すことのできる学習の機会を数多く設定する必要があると考えた。

今までの取組を充実させ、人とのかかわり・都祁地区ならではの豊富な体験活動が子どもの心を耕し、感動体験・思いやりの心・豊かな心・信頼の心を育てると考えた。そうすることにより、子どもたちは、もっと瞳を輝かせ、心を弾ませて、意欲的に活動するはずである。

**2. 取組の概要****【栽培活動にチャレンジ】**

この地域でも、最近では、子どもたちが土に触れるということが少なくなっている。そこで、5年生の米作り体験をはじめ、4年生の土づくり・水菜の栽培、3年生のケナフの栽培・活用、2年生での白菜の植え付け、1年生のやきいも大会等、地域のゲストティーチャーのもとで様々な栽培体験活動を行うことに取り組んでいる。観察や結果を絵や作文、お礼のお手紙に表すことができた。

**【親子環境整美作業】**

PTA・学校が中心になって取り組んでいたが、今年から地域の諸団体の方々100名を超えるお手伝いをいただいた。子どもたちと地域の方々が共同で運動場の草引き作業を行った。

**【お話の会】**

都祁地区のお話の会の方々より、毎週火曜日に(低)(中)(高)のローテーションで年間29回、数年前から継続して語り聞かせや読み聞かせをしていただいている。学年を問わず話を聞く姿勢がしっかりとついてきている。

**【昔の遊び大会】**

1・2年生が、昔の遊びを体験する学習である。昨年までは、子どもたちのおじいさん・おばあさんにゲストティーチャーとして教えていただいたが、今年から地域の方々にも協力していただいた。子どもたちは、日ごろなかなか体験できない遊びに瞳を輝かせながら、楽しむことができた。遊びを通して会話も弾んだ。

**【本物の楽しさに出会おう】**

新しい発見・感動との出会いの取組の一つとして、講師を招いての活動に取り組んだ。『県小学生陸上記録会への参加』『本を通しての感動との出会い』『素敵な音楽に出会う会』では、知識として得たものだけでなく、できる自分とも出会うことができた。

**3. 成果と課題**

子どもたちが生き生きと語れる、自信をもって活動し、様々な体験や交流をすることでより深く自分や周りのすべてのものと心やさしくつながることができるのではないかと考え、研究教科の国語科だけではなく、全教育活動の中で事業テーマに関連付けてきた。いろいろな体験活動は、子どもたちの主体性と新たな発見に気づく心を育てた。また、以前から続いているPTA・地域の方々を進める環境整美活動やつげの子見守り活動、お話の会、地域の方から教えていただきながらの花や野菜等の栽培活動もより充実してきた。

次年度は、学んだ事柄を生かして、地域に発信していく活動場面を増やしていきたい。

事業名

## 学び合い、輝け吐山っ子

目標

たくましく生き抜くために、いろいろな人との交流を通して豊かな心を育み、生き生きと活動する吐山っ子を育てる

### 1. 取組の視点

本校は、児童数67名で、校区は、奈良県の北東部、大和高原の東端に位置している。夏は涼しく、冬の寒さは厳しい。サンショウウオが棲み、すずらんが群生する豊かな自然と、氷室、城山、伝統無形文化財（吐山太鼓踊り）などに見られるように古い歴史をもつ地域である。本校は、創立136年の歴史と伝統を持つ学校であり、校区の人々の学校に対する期待や関心は極めて高い。自治体組織や老人会などが活発に運営されており、平素から学校教育を支援してくれている。



地域遺産を発表する5年生

今年度の地域で決める学校予算事業では、地域の大きな支援に支えられている本校の特色を生かして、全ての教科・領域で、いろいろな人に出会う感動体験や、地域の方をゲストティーチャーに招いて行う体験活動を通して、豊かな心を育むことに取り組んだ。12月3日の学習発表会には、お世話になった地域の方々を招待して、それまで学習してきたことを発表した。

### 2. 取組の概要

＜竹の学習＞5月～11月、3年生は、タケノコ掘、タケノコの調理、竹細工、そうめん流し、竹炭作りと、地域の方の支援を得て体験学習をした。



感想を述べて下さる参観者

＜森林環境学習＞4年生は、6月の源流探検から始まり、10月には、北部農林振興事務所や県野外活動センターの協力を得て間伐体験・木工教室などの体験学習をした。

＜吐山地域遺産＞5年生は、大切にしていきたい「スズラン群生地」や「左巻きのカヤの木」などについて、地域の方から話を聞いたり、調べたりして、自分たちの地域遺産に認定した。

＜吐山太鼓踊り＞6年生は、保存会の方々から太鼓踊りを教えてもらって2年目になる。1月22日の教育講演会（吐山地区人推教共催）で、5年生と共に「干田踊り」「宝踊り」などを披露した。

＜昔遊びの会＞2月1日には、1・2年生が鶴寿会（地域の老人会）の方々を招いて、すごろくや福笑いなどの伝統的な遊びを行い、交流を深めた。

### 3. 成果と課題

学習発表会では、プロジェクターとデジタルカメラを駆使し、長期にわたり記録してきた映像を使って発表することができた。各学年が招待した多くの地域の方々を前にして、児童は、緊張しながらも、発表に手応えを感じていた様子だった。後日、地域の方から励ましの手紙をいただくなどして、交流が深まった。

事業名

## 学び・ふれあい六郷の里

目標

豊かな自然を生かした活動や地域の人との交流を通してふるさとを愛する豊かな心と強い体を育み、基礎学力の向上を図る教育を充実させる

### 1. 取組の視点

本校の子どもたちは、小さい時から少人数で育ち、明るく素直、温和で言われたことはしっかりできますが、依存的なところが多く、自己を表現することは苦手だという面があります。また、豊かな自然の中にいながら、自然の中で遊んだりすることが少なく、地域の産業や自然環境に対する関心もうすいので、体験活動を通して、心の教育を充実したいと考えた。

そのために、地域の方の協力を得ながら、豊かな心を育むための活動を多く取り入れることにより本事業の活動を進めてきた。

### 2. 取組の概要

#### (1) 米作り教室

自然を生かした活動として米作り教室を実施している。学校近くの田んぼを借りて全校生が田植えから稲刈り、脱穀まで行った。とれた米と育てたサツマイモでイモごはんを地域の方の協力を得て作り、おいしくいただいた。この活動を通して生産する苦労や喜び、勤労の大切さを学んだ。



#### (2) ふれあい音楽交流会

豊かな心を育むため音楽交流会を実施してきました。講師の先生から合唱・合奏の指導を受けました。そして六小まつりで保護者や地域の方に聞いて



てもらった。たくさんの人の前で、歌う楽しさや友達と心を合わせて演奏するすばらしさを実感した。

#### (3) 地域にある施設の訪問・見学

地域にある高齢者福祉施設を訪問して高齢者の方たちと一緒に遊んだり、話を聞いたりした。この交流を通じて人を思いやる優しい心やまわりの人に感謝することなどを学んだ。

また、消防署や警察署に行き、見学や聞き取りをして、仕事の厳しさや苦労、たくさんの人に支えられていることなどを学んだ。

### 3. 成果と課題

子どもたちは、自然体験を通して自然の良さに気づき、生き生きとした活動ができた。今後は子どもたち自身が、地域の産業や自然環境に対して課題意識を持って取り組んでいけるようにしていきたいと考えている。そのためにも、引き続き、体験活動や地域学習に取り組む必要がある。